



山形県感染症発生動向調査

平成30年第9週(2月26日～3月4日)

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)
 TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486
 URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>
 2018年3月7日 発行

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第8週	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	第8週	第9週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	112070 22.64	1012 ◎21.08	1001 ◎20.85	▼	318 ◎15.90	334 ◎16.70	△	135 ○27.00	128 ○25.60	▽	256 ◎25.60	219 ◎21.90	▼	303 ◎23.31	320 ◎24.62	▲	12343
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1141 0.36	6 0.20	3 0.10	▼	6 0.46	1 0.08	▽					2 0.33	△				126
咽頭結膜熱	901 0.28	17 0.57	25 0.83	▲	8 0.62	9 0.69	▲				5 0.83	9 1.50	△	4 0.50	7 0.88	△	161
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8396 2.65	171 5.70	145 4.83	▽	71 5.46	56 4.31	▽	13 4.33	5 1.67	▽	65 ◎10.83	60 ◎10.00	▽	22 2.75	24 3.00	▲	1265
感染性胃腸炎	15217 4.81	139 4.63	136 4.53	▽	41 3.15	52 4.00	▲	11 3.67	6 2.00	▽	47 7.83	39 6.50	▽	40 5.00	39 4.88	▽	1166
水痘	676 0.21	7 0.23	4 0.13	▼	2 0.15	2 0.15		1 0.33		▽	1 0.17	2 0.33	△	3 0.38		▽	133
手足口病	341 0.11	11 0.37	13 0.43	△	7 0.54	7 0.54					4 0.67	6 1.00	△				167
伝染性紅斑	198 0.06	4 0.13	6 0.20	▲	1 0.08	2 0.15	△				3 0.50	3 0.50			1 0.13	△	40
突発性発しん	999 0.32	13 0.43	15 0.50	▲	5 0.38	5 0.38		1 0.33	1 0.33		5 0.83	4 0.67	▽	2 0.25	5 0.63	△	100
ヘルパンギーナ	43 0.01	1 0.03	1 0.03			1 0.08	△				1 0.17		▼				16
流行性耳下腺炎	460 0.15	4 0.13	1 0.03	▽		1 0.08	△	1 0.33		▽	1 0.17		▽	2 0.25		▽	29
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	10 0.01																
流行性角結膜炎	420 0.60		4 0.50	△		3 0.75	△					1 1.00	△				11
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	125 0.26		3 0.30	△		3 0.75	△										6
クラミジア肺炎	2 0.00																
マイコプラズマ肺炎	61 0.13	1 0.10	1 0.10		1 0.25	1 0.25											33
細菌性髄膜炎	14 0.03																3
無菌性髄膜炎	11 0.02	1 0.10		▽										1 0.33		▽	2

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1				
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	患者	1				90日以内の海外渡航歴:無。
後天性免疫不全症候群	無症状病原体保有者	1				
百日咳	患者	2				※内、第8週追加報告分1件。ワクチン接種歴:4回2件。

<通信欄>

※インフルエンザウイルスの型別、集団発生情報等については2ページ目のトピックスをご覧ください。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	3	13	49	39	54	83	94	102	58	51	54	193	30	13	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	34	44	24	32	17	14									1001
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		1			2										3
咽頭結膜熱		2	5	7	4	6	1								25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	14	15	27	22	23	7	9	7	14	1	2	145
感染性胃腸炎			13	7	11	20	19	14	8	10	8	23	2	1	136
水痘					1		1	1		1					4
手足口病		2	8	3											13
伝染性紅斑				2	1		2		1						6
突発性発しん		9	4	2											15
ヘルパンギーナ			1												1
流行性耳下腺炎										1					1

< 平成30年1月 月報 >

2018年2月21日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～1月	
	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月	12月	1月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	18	19	9	5	6	9	1	1	2	4	19
	定点当り	1.80	1.90	2.25	1.25	6.00	9.00	0.50	0.50	0.67	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	4	9	2	2			2	3		4	9
	定点当り	0.40	0.90	0.50	0.50			1.00	1.50		1.33	
尖圭コンジローマ	報告数	6	3	2	1			1		3	2	3
	定点当り	0.60	0.30	0.50	0.25			0.50		1.00	0.67	
淋菌感染症	報告数	2	3		2					2	1	3
	定点当り	0.20	0.30		0.50					0.67	0.33	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	3							4	3	3
	定点当り	0.40	0.30							1.33	1.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	19	20	6	6	2	2	3	3	11	9	20
	定点当り	1.90	2.00	1.50	1.50	2.00	1.00	1.50	1.50	3.67	3.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数	1		1								
	定点当り	0.10		0.25								

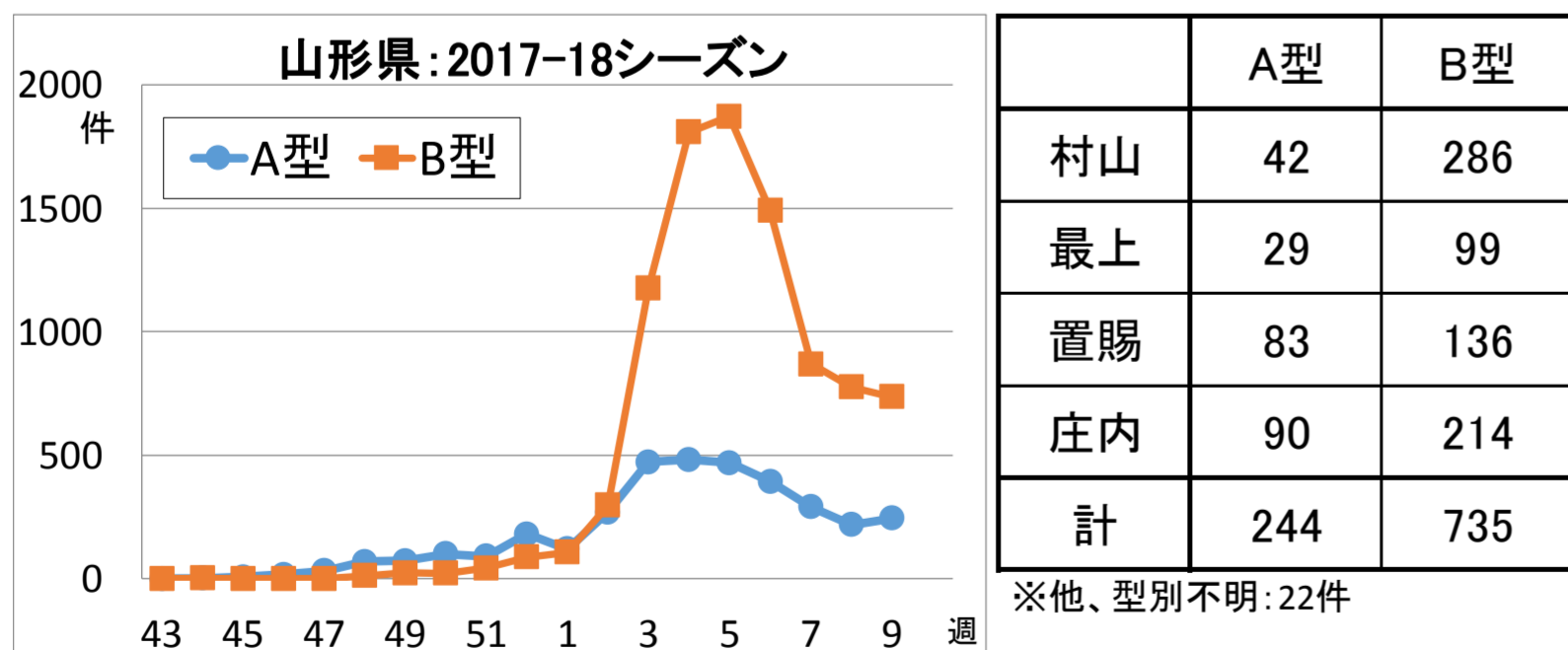
< トピックス >

【インフルエンザ情報】

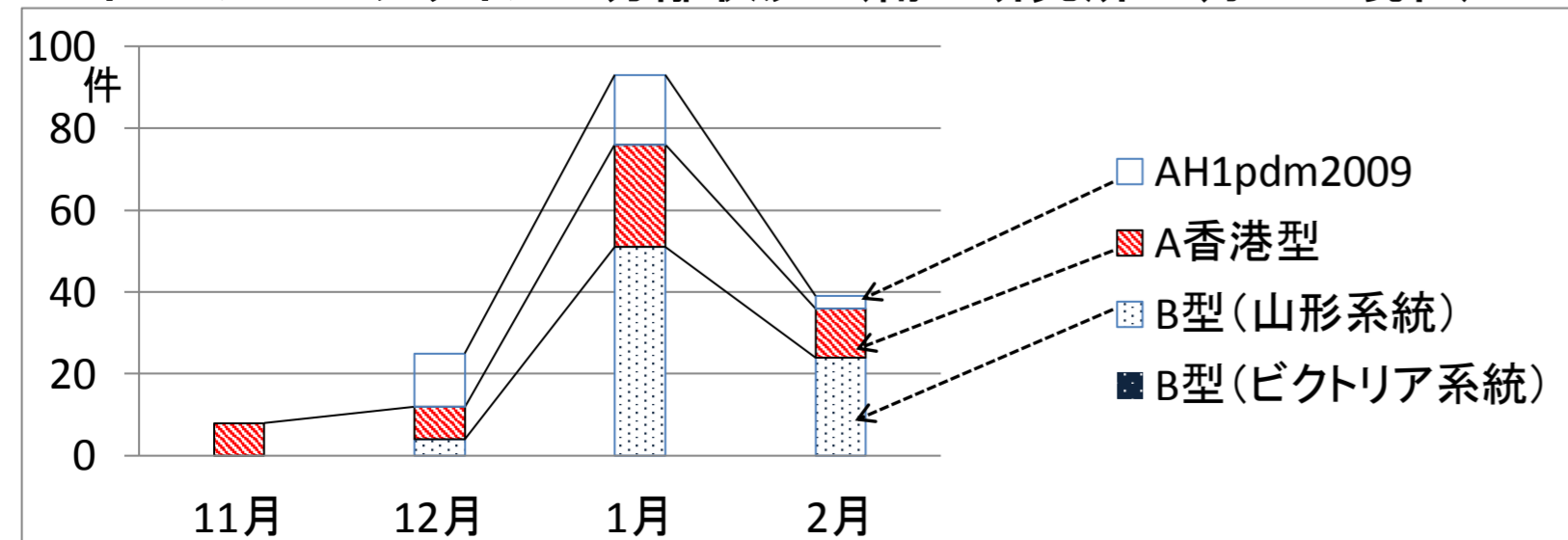
インフルエンザの定点当たり報告数は4週連続減少となりましたが、依然村山・置賜・庄内地区は警報レベル、最上地区は注意報レベルであり、県全体の定点当たり報告数も警報レベルで推移しています。

・インフルエンザ
警報開始基準値:30人 警報終息基準値:10人 注意報基準値:10人
・第9週 定点当たり報告数 (山形県:20.9人)
村山地区 16.7人、最上地区25.6人、置賜地区 21.9人、庄内地区 24.6人

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第9週)



2 インフルエンザウイルス分離状況 (衛生研究所 2月28日現在)

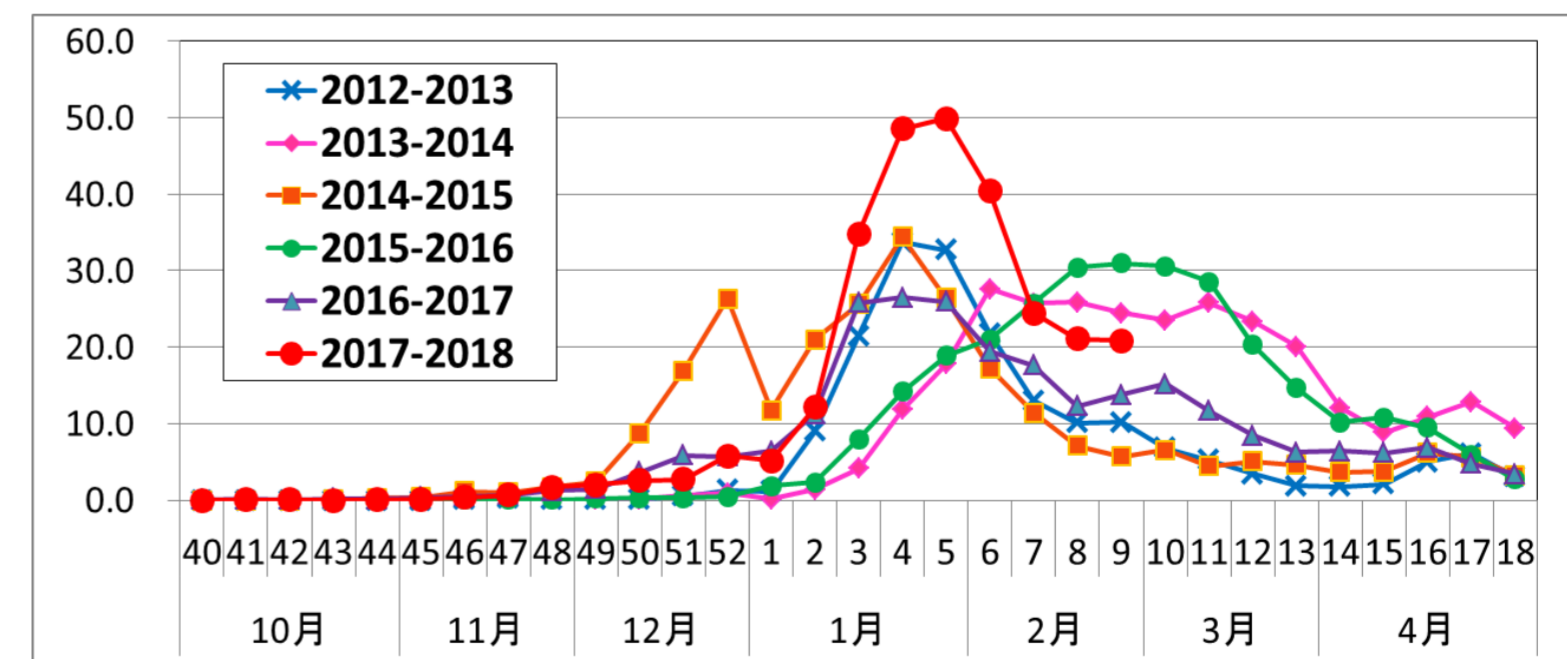


3 集団発生情報(山形県健康福祉企画課まとめ 第9週)

	村山	最上	置賜	庄内	合計	前週
幼稚園・保育所	6	1	1	2	10	8
小学校	4	2		8	14	15
中学校	2	1	1		4	4
高校	2			1	3	2
福祉施設	1		3	1	5	1
その他					0	0
合計	15	4	5	12	36	30

※数字は施設数(措置なしを含む)

4 定点当たり報告数の推移(山形県)



インフルエンザは感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大します。こまめな手洗いと咳エチケット、マスク着用などで「かからない」、「うつさない」を心がけましょう。かかったなと思ったら、症状が軽くても無理をして出勤したり登校したりすることは禁物です。早めに医療機関を受診し、発熱後5日を経過し、かつ解熱後2日間(幼児は3日間)は自宅で静養しましょう。